

平成 23 年度 落合小学校グランドデザイン



初代校長岩本節次先生《建学の教え》

慎 其 獨

一人になったときこそ自らの行いを慎め 他人が見ていないときの行為がその人を決める

学校経営の方針
小規模の良さを生かした学びのある学校
○学力向上と仲間関係づくり
○児童理解と個性伸長
○地域・保護者との連携

児童の実態
・明るく、素直で優しい。
・未経験の場では、自己を表現するのが苦手である。
・人間関係が固定化されており、新たな伸長が実現しにくい。

輝 其 獨
一人一人を輝かせる教育

学校を取り巻く環境
・開校 138 年目の伝統校
・本年度末で閉校、2 校へ分割統合
・協力的な保護者と地域住民

《学校教育目標》

お：思いやりのある子（徳）
ち：知恵のある子（知）
あ：明るく元気な子（心身）
い：命を大切にする子（命、健康、誠）

《21 世紀富士見町教育新生プラン》
心をたずねる教育の推進
①家庭や地域に開かれた学校
②したたかな学力の育成
③読書をすすめ豊かな心の育成
④一人の淋しい子どももつらい学校

県の三視点
柱 1：基礎・基本の確実な定着を図り、伸びる力を一層伸ばす「分かる授業」
柱 2：子どもの個性や地域の環境を生かす「特色ある教育課程」
柱 3：ともに生きる喜びや感動が生まれる「楽しい学校」

【めざす子どもの姿】

| | | |
|---|--|---|
| <p>《思いやりのある子》《命を大切にする子》</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自分も友だちも大切にできる子ども * ふるさと落合を愛し、自然を大切にする子ども * 積極的に友だちの輪を広げられる子ども | <p>《知恵のある子》</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基礎・基本の力を確実に身に付けた子ども * 身に付けた力をいろいろな場で発揮することができる子ども * 自分の考えや思いをしっかりと伝えられる子ども | <p>《明るく元気な子》</p> <ul style="list-style-type: none"> * 誰にでも自分からすすんで元気よくあいさつや返事のできる子ども * 外で元気よく遊び、自分の体を鍛える子ども |
|---|--|---|

【本年度の重点目標】

***ふるさと落合での学びを糧に、夢と希望と勇気をもって新しい世界に飛び込んでいくことができる子どもの育成
～たくましく生きる落合の子～**

【具体的な取組】 *：重点的取組

| | | |
|---|--|--|
| <p>*統合・進学先の学校との交流</p> <p>1 交流活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> * 統合先の学校・中学との交流 ・同学年交流を中心に * 地域との交流活動 ・清泉荘、しらかば園、落合保育園、赤とんぼ、平岡美土里委など <p>2 ふるさと学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域講師招聘による「ふるさと落合を知る会」の実施（月 1 回程度） * 岩本記念館の利用促進 <p>3 人権・道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> * Q-Uの実施（6月・12月） * 個別の支援計画（生活面）の作成 <p>4 豊かな自己表現力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> * 全校音楽劇、全校組体操、閉校式典、町民芸能祭、児童集会 | <p>*確かな学力の保障 (新CS完全実施初年度=授業改革へのAction)</p> <p>1 日常の授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> * 授業がよくなる 3 観点のさらなる意識化（見とどけの工夫） * 日々の教材研究の充実 <p>2 新CSの趣旨に沿った授業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> * 言語活動の充実 * 授業におけるプレゼンテーションの場の位置付け <p>3 個別指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> * トリルタイムの充実（回数・内容・方法） * 個別の支援計画（学習面）の作成 <p>4 家庭学習の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> * 家庭との連携強化 * 読書の日常化に向けての取組 <p>5 県PDCAサイクルづくり支援事業の全学年への浸透</p> <p>6 漢検への挑戦</p> | <p>*元気なあいさつ、外遊び</p> <p>1 あいさつ、返事の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> * 気持ちよい「ハイ」の返事 * 相手意識を持ったあいさつ <p>2 体力づくりの日常化</p> <ul style="list-style-type: none"> * 朝の自主マラソン * 「外で遊ぶ日」の継続（木曜 2 時休み） <p>3 対外的な大会への積極的参加</p> <ul style="list-style-type: none"> * 陸上大会、ワコトツツ、駅伝大会等 <p>4 歌声の響く学校</p> |
|---|--|--|

家庭・地域・同窓会との連携

- ・情報発信(HP、学校だより、校長室だより等)
- ・閉校記念事業の計画推進
- ・外部評価(保護者・学校評議員)

教育課程研究協議会 図画工作科 発表校
【研究テーマ(仮)】
「友と関わりながら追究をより確かにしようとする子ども
～小規模校のよさを生かした授業のあり方～」

すべてを支える基盤としての《教師の自己研鑽・自己研修》

- ・総合教育センター、各種団体の研修会・研究会への積極的参加
- ・自己課題の解決に向けた授業公開による学び合い（同僚性の発揮）
- ・新学習指導要領の趣旨に沿った深い教材研究
- ・「報告・相談・連絡」を密に、職員間の積極的コミュニケーション